

医療法人 道心会 埼玉東部循環器病院

造影検査を受けられる患者様へ

(CT検査・血管造影)

・検査名：冠動脈造影、脳動脈造影、大動脈造影(胸部、腹部)、両下肢動脈造影、その他()

造影剤の説明

検査当日、あなたが受ける検査では、ヨード系造影剤という検査薬を使用します。造影剤は、より正確な診断をするために用いますが、一方、下記に示すような副作用が起こることもあります。

- 軽い副作用：吐き気、動悸、頭痛、かゆみ、くしゃみ、発疹、注射部位の痛みなどです。検査の1～2日後に発疹が現れることもあります。これらは、治療を要さないか、1～2回の投薬や注射で回復するものです。
<発生頻度：約100人につき5人以下、つまり5%以下です。>
- 重い副作用：呼吸困難、嘔声、意識障害、血圧低下、腎不全などです。このような副作用は、入院のうえ治療が必要で、場合によっては後遺症が残る可能性があります。
<発生頻度：約2.5万人につき1人以下、つまり0.004%以下です。>
- 遅発性副作用：体質により検査終了後に副作用(発疹、かゆみ、むくみ、吐き気、のどのイガイガ感、咳、冷や汗、動悸、脱力感、めまい)が現れることがあります。このような遅発性の副作用は、出るとすれば、検査後10分以内がほとんどですが、ごくまれに数時間から数日後(多くは2日以内)に副作用が現れることがあります。また、注射部位の痛みが数日間持続する場合があります。
- 病状・体質によっては、約40万人につき1人の割合(0.00025%)で死亡する場合があります。
- CT検査で造影剤を注射するときに体が熱くなることがありますが、これは、一時的な刺激であり心配ありません。
- CT検査では、造影剤を注入するために、血管外に造影剤が漏れ注射した部位がはれて痛みを伴うこともあります。通常は時間がたてば吸収されますので心配はありません。
- これらの様な症状が起きた場合には、当院では適切な処置を速やかに行います。
- アレルギー体質や薬物・造影剤・食物・環境に対するアレルギーのある方は、お申し出ください。
- 医師は、これらの長所・短所を踏まえ患者様にとって利益になると判断した場合に造影検査をお勧めしていますが、不明な点があれば、医師にご相談ください。

説明医師署名欄

患者様に対して、私が検査および造影剤使用の目的について説明しました。

【説明実施日】

【医師氏名】

平成 年 月 日

造影検査に関する同意書・拒否書

埼玉東部循環器病院院長 殿

同意書

私は、現在の病状、造影検査について説明を受け納得しましたので、造影検査を受けることに同意します。

【記入日】

【患者様または代理人】

平成 年 月 日

(続柄)

拒否書

私は、現在の病状、造影検査について説明を受けましたが、造影検査を受けることを拒否します。
このことによる結果について、主治医・検査担当医・病院の責任は問いません。

【記入日】

【患者様または代理人】

平成 年 月 日

(続柄)